



## 七 何から肉瘤説か

# 休憩するバズ花

三  
國

四  
年

# 段々過

09.10. NO 149  
発行市岡日出  
責任者  
0883-88-5292



祖谷の九月は、ソバの白い花があつちこど  
の段々畑に咲きはじめ、彼岸花の紅とと  
くに風に搖ゆて、美しい景色がみられ  
て、農作業(主に草刈り)のあり間の休  
憩の時は、こゝへ来て眺めは、贊美いやま  
と寂山もちよつとはまことにまる。  
ごと、ソバの花にミニバチは一匹も見あた  
らず、どこか夜によつているようだ。  
たゞ天気は好天にめぐまれ、月末頃には  
飲み水の心配になりましたが、恵みの雨も  
あつたりして、日々過ぎて行く。  
ごと季節は変つて、ようやく空  
の雲は高く吹く風は心地良、

限りです。千葉の皆さんや鳥取から梨  
が届き、汗をかいたあとの"うきがた"こそ  
ありがたいへとごす。  
どう一ヶ月にすると、毎日曜日は運動  
会が続きます。子ども達は少ないのですが地域  
の運動会として楽しい秋の日の一日です。  
子ども大人も出番が続々の"大変な"のです  
が、皆さんのが生役となれるものです。  
休校になつた小学校や、今年最後の運動会  
もあり、りくて、新聞のネタにはひつひつと  
うづますが、流れ子にまかせているだけ、対策う  
しりものは無に博うといの"仕事がない"の"し  
よう。東祖右も数年後の(三年)には、小学校  
も統合し、小中同じ場所で学ぶ様になります  
うが、どこか話題にひつて小中一貫教育  
が実現あるようます。  
やあを得ずの選択ひの"喜んびばかり"い  
うれや。

四

九月の好天日、祖谷の山へ。  
余り登山者の多い山をと京井  
峠から土佐矢筈山へ行つてみました。  
申し方のない眺め、道歩いにはリード  
どうも残りてました。  
紅葉も、ドウダンツツジやスルビ  
ツリバナが色づいてました。  
青空にナカツドの実が映えて  
ました。  
ゆづくりと紅葉がはじまります。  
「山から紅葉ソーデンがやりますか、  
祖谷の山へど来つ下さい。  
そり降には、登山道以外を歩ひ  
づきを捨てたりしないようになつて  
下さい。時々、ミニシの技を弄つてみ  
ようほんもいますが、困つたらこんどす。

はじめ  
かみ

